

じゃんぽ!

なつめ組の劇は、
いか〜がです♪



先週の金曜日は、ありがとうございました。無事、楽しみ会を終えることができました。

お家の人を前にして、緊張感が高まり、子供たちのいろいろな姿を見ていただけかと思います。楽しい気持ちとドキドキの不安な気持ちと、いろいろな気持ちを抱えていた子供たち。最後まであきらめずに前に立ち、役を果たそうとするそんな姿に、成長を感じました。

保護者の皆様も、温かく見守ってくださりありがとうございました。感想用紙の方にも、今までの過程や当日の姿を優しく見守ってくださっていた様子が分かり嬉しく思います。

ようやく、春の陽の暖かさを感じられるようになりましたね。(むしろ暑いくらい?)

そんな日はもちろん、体を動かして遊びたくなります。久しぶりに氷鬼やフラフープ、縄跳びなど思い切り体を動かして遊んでいます。体を動かして遊びたくなるのは、どうやら人間だけでなくウサギのみーちゃんもだったようです。隙をみて広い園庭に飛び出し、気持ちよく走り出します。そんなみーちゃんを子供たちは追いかけて、小屋に戻るよう促します。「みーちゃんも一緒に遊びたかったのかなあ?」とAさん。そんな子供の発想がとてもかわいらしくて、素敵だなと思った瞬間でした。



楽しみ会が終わり、解放されたかのように(笑)子供たちは、自分の好きな遊びをみつけて遊んでいます。「暖かいと、山作りたくなるんだよね。」「そうそう。」と子供たちの言葉から、砂場での遊びも復活!(風の冷たい日は砂場が氷のように冷たく、なかなか遊べませんでした。)今まで遊んできた経験をいかし、ただ砂を高く積んでいくのではなく、水を少しずつかけたり、さら粉をかけて固めていきます。「砂かける人が2人で、水持ってくる人が2人ね。」「ちょうど同じ数にするってことね。」なんてやりとりをしながら遊んでいると、子供が何人乗っても崩れない大きな山ができました。そんな山を見たBさんが、「これが、なつめ組の思い出だね。」と言。Bさんの言葉を聞いていた周りの

子たちも、「ああ、たしかに。こんなに大きな山ができたんだもんね。」「みんなで作ったもんね。」なんて話す内容が、今にも卒園しそうな言葉に感じました。

遊ぶ中で身についた知識を、他の遊びでも生かしてみたり、友達と相談しながら進めようとしたりするなど、遊び方が変わり、より面白さを感じて遊んでいる力が育ってきているなど感じる瞬間でした。

1年間 ありがとうございます

あっという間の1年間。子供たちにとって、保護者の皆様にとってどんな1年間だったでしょうか。あの休園期間も一緒に過ごすことができたなら、もっと楽しい遊びができたのになあと思うこともありましたが、しかし、そんなことを少しも感じないくらい、子供たちは毎日元気よく登園してきてくれました。そして誰も感染することなく1年を終えることができました。感染予防対策をきちんとしてくださった、保護者の皆様に感謝いたします。

私にとってこの1年間、“今日は、どんなことを話すのかなあ。何が起きるのかなあ”とワクワクドキドキした1年間でした。砂のプールに向かって大ジャンプしたこと、段ボールの家でみんなと遊んだこと、お店屋さんごっこをしたこと、ドッジボールをしたことなど色々な遊びの中に、子供たちの思いや考えが入り交じり、どんどんと遊びが面白くなってきました。“こうしたい！”と遊ぶ中で思いが強くなり、友達とのいざこざが増え、うまく自分の思いが言葉にできず、「幼稚園がいやだな…。」と思うこともありましたが、そんな時、先生と一緒に気持ちを言葉にしてみたり、友達と一緒に考えてみたりすることで、気持ちが受け止められ、共有されて、モヤモヤしていた気持ちがスーッと消えていきました。縄跳びや雲梯、鉄棒など難しいことにも根気よく取り組めるようになりました。楽しかった思い出を振り返るときに、自分の気持ちも話の中に入り混じりながら話せるようにもなりました。まだまだ、気持ちに折り合いをつけるのが難しく、「もう！」と怒れてしまうときもありますが、様々な経験を経て、今の子供たちの姿へと成長することができました。

そして、ステキな年長さんになるために、たくさん力をため込んで、大きくじゃ～んぷ！と元気よく飛び出していきます。そんな大好きななつめ組のみんなを、いつまでも応援しています。

最後になりましたが、保護者の皆様にご心配をおかけした時もあり、至らぬところもありましたが、温かく見守ってくださった保護者の皆様に感謝いたします。子供の話だけでなく、普段の何気ないお話もしてくださり、とても楽しかったです。本当にありがとうございました。

令和2年度 なつめ組担任

